

養氣軒

だより

vol.42
2018
Summer

- TOP 認知症カフェ『さくら』オープンのご案内
- 02 入院支援センターを開設しました
新職員歓迎虚空蔵山登山を行いました
- 03 地域の病院・医院・診療所の先生方
のご紹介（第10回）
- 04 外来診療日一覧表・患者の権利

☺ 認知症カフェ『さくら』オープンのご案内

平成30年4月より、毎月第2水曜日13:00から中会議室にて認知症カフェを始めました。

認知症カフェとは、認知症の方ご本人やご家族、地域の皆さん、その他誰もが気軽に参加して「話をする」「話を聞いてもらう」「認知症について知る」ことができるカフェスタイルの交流の場所です。

お茶をしながら、物忘れプログラムによる認知症検査、認知症予防体操、折り紙などの製作、医師による認知症講話など気軽に楽しみませんか？

皆様のご来店をお待ちしています。

副看護師長 大平 千絵（認知症カフェ担当）



入院支援センターを開設しました



入院はどなたにとっても不安を伴うものです。そこで入院の決まった患者さん・ご家族に対して入院に必要な説明や情報収集を行うことにより、安心・安全な医療を提供することを目的に入院支援センターを開設しました。

これまでは各診療科外来で入院説明を行っていましたが、3月末よりセンターで入院前の支援を開始しました。最初に外科の入院患者さんより支援を開始し、現在はすべての診療科に対応しています。

支援内容は、お薬のこと、検査の説明、食事のこと、治療や検査に伴う注意事項など多岐にわたり、それぞれ看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、栄養士、事務職員が、患者さんの反応や理解を確認しながら専門家としてきめ細かな対応を行っています。

また入院時より退院後の患者さんの状況を考え、円滑な退院支援にもつながると考えています。

このように入院支援センターは、患者さん・ご家族に安心・安全を届け、満足のいく入院生活につながると期待しています。職員一同チーム一丸となって取り組みますのでよろしくお願いいたします。

入院支援センター 泓 ヨシ子

新職員歓迎虚空蔵山登山を行いました

毎年恒例の新職員歓迎虚空蔵山登山を4月21日に行いました。

当日は雲一つない日本晴れの登山日和で、16名の参加者が集り、雄大な自然に触れ、草花を鑑賞しながら和気藹々と登頂しました。

山道は要所に標識やロープ等があり、普段登山をしない人でも安全に歩くことができるように配慮されていました。

しかし時々落ち葉が積もり足元が滑りやすくなっている場所があり、相応の慎重さが求められ、難し過ぎず易し過ぎず、心地よい緊張感を持って臨める良い登山であると感じました。

頂上では、登山と暖かな春の日差しで火照った身体に山間を吹き抜ける風が心地良く、大村湾と周辺の町並みを一望する大パノラマを堪能しながら、皆さんと一緒に食べたお弁当は最高でした。

来年も機会に恵まれれば是非参加したいと思います。

理学療法士 宮島 遼太



山川医院

院長 山川 裕 先生

住所：東彼杵町彼杵宿郷93番地、院長：山川 裕、スタッフ：事務2名、看護師3名で内科を行なっています。肥満対策をライフワークにしていますが、院長はじめ全員肥満に悩んでいます。

病診連携で訪問看護師さんや病院担当医の方々と連携して患者さんの在宅療養生活をフォローしています。高齢化が進み通院困難や在宅生活自立困難の方も多くなり、なかには看取りが必要とされる方もおられます。最近改めて看取りに関して考えるようになりました。私見ではありますが、看取りとは患者さんの生から死の状態に変わるまで近くで見守り、患者さんの不安を取り払うことと考えます。患者さんも介護者も強いストレスにさらされます。そのため特に亡くなる前あたり主治医にそばについて欲しいといわれる事がありますがこれはなかなか困難です。なぜなら、亡くなる時間を推定するのが困難だからです。患者さんの様子を見て数日位とは言えますが、何月何日何時頃とは言えません。したがって死亡確認は呼吸停止（呼吸停止は時間がかかることもあります）を家族が確認されてから主治医を呼んでいただく流れになります。但し数日以内に主治医なり看護婦さんが容体を診て亡くなる可能性を確認しておくべきです。それでもどうしても在宅での看取りが困難であるならば入院をお願いすることもあります。

患者さんの家族が患者さんの苦痛をみかねて入院や治療処置を希望される場合があります。急性期で回復が期待できる方や痛みをとることは必要ですが、そうでない方にとっては必要のない苦痛かも知れません。特にこれ以上の入院治療は患者さんのためにならないと判断された方は貴重な家族と過ごす自宅の生活ができなくなるわけですから。

どのように逝きたいかは本人に確認するのが一番です。どうして良いかわからない時は自分（家族の代表者）がそうしてもらいたいと思う方向でやってもらうのがよいでしょう。



山川医院
〒859-3807 長崎県東彼杵町彼杵宿郷93番地
TEL.0957-46-0020

外来診療日一覽表

平成30年7月9日



午前	の部	月	火	水	木	金
内科	新患	松屋 合歡	松屋 合歡	成田 智子	永石 彰子	松屋 合歡
神経内科	新患	成田 智子	****	前田 泰宏	****	永石 彰子
	再来	福留 隆泰 永石 彰子	成田 智子	権藤 雄一郎	前田 泰宏	福留 隆泰 松尾 秀徳 (脳腫)
代謝内科	新患	****	****	****	****	****
	再来	****	木村 博典	木村 博典	****	****
呼吸器内科	新患	****	****	黒木 麗喜	****	****
	再来	****	黒木 麗喜	****	****	****
循環器内科	新患	****	****	****	****	****
	再来	二宮 暁代	****	****	二宮 暁代	二宮 暁代
消化器内科	新患	****	植木 俊仁	松本 章子	****	****
	再来	松本 章子	****	****	植木 俊仁	****
外科	新患・再来	寺田 隆介	****	宮下 光世	****	内田 史武
整形外科	新患・再来	藤本 勝也	藤本 勝也	藤本 勝也	藤本 勝也	藤本 勝也
		高橋 良輔 (脳神経)	****	野村 賢太郎 (脳神経)	****	****
脳神経外科	新患・再来	野田 満	野田 満	戸田 啓介	****	戸田 啓介
	脳ドック					
皮膚科	新患・再来	****	浅井 幸	****	浅井 幸	浅井 幸
泌尿器科	新患・再来	藏田 彩	藏田 彩	藏田 彩	藏田 彩	藏田 彩
小児科	新患・再来	小森 一広	小森 一広	小森 一広	小森 一広	小森 一広
内視鏡	9:00 ~	植木 俊仁	松本 章子	植木 俊仁	松本 章子	植木 俊仁

※外科の新患外来は10時~10時30分で診療しています。
 ① 外来受付時間は、午前8時30分~11時です。
 ② 糖尿病教室は第1、2、3水曜日14時~15時に整形外科外来にて開催しています。
 ③ 土曜日・日曜日・祭日・年末年始(12/29~1/3)は休診です。
 ④ セカンドオピニオン外来を実施しています。
 ⑤ 健康診断は完全予約制となっております。事前にご連絡を下さい。
 ⑥ 救急の場合は、休診日でも診療いたします。

午後	の部	月	火	水	木	金
皮膚科	新患・再来	****	****	浅井 幸	****	****
小児科	新患・再来	小森 一広	****	小森 一広	小森 一広	小森 一広
特殊外来 (要予約)		[A'-スメーカー] 二宮 暁代 14:00~16:00	[乳腺専門] 毎月第4火曜日 13:00~17:15			
		[脳波・筋電図] 福留 隆泰 14:00~16:00				

患者の権利 医療は患者と医療提供者とがお互いの信頼関係に基づき協力して作り上げていくものであり、患者に主体的に参加して頂くことが必要です。
 私たちは、患者が医療において人間として尊重され、安心して良い医療を受けていただくために、「患者の権利」に関し宣言します。

1. 個人として常にその生命、身体、人格が尊重される【個人の尊厳】
2. 良質の医療を平等に受ける権利
3. 病気、検査、治療、見直しなど自分が受けている医療について知る権利
4. 自分が受ける医療に参加し、十分な説明と情報提供を受けた後で（インフォームド・コンセント）、治療方法など自らの意思で選択する権利【自己決定権】
5. 自分の診療記録の開示（記載内容の説明、閲覧、複写など）を求める権利や他の病院の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利【検証権】
6. 個人のプライバシーが守られる権利



独立行政法人 国立病院機構
長崎川棚医療センター
 (西九州脳神経センター)
 〒859-3615 長崎県東彼杵郡川棚町下組郷2005-1

電話 **0956-82-3121** FAX **0956-83-3710**
 連携室FAX **0956-82-2280** **0120-82-2970**
<http://www.nkmc.jp/>